

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道2号 周南立体		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：山口県周南市孝田町 至：山口県周南市徳山				延長	3.5 km
事業概要						
一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。 周南立体は、周南市内の慢性的な交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域経済の発展等を目的として、主要渋滞ポイント三田川交差点を跨ぐ交差点立体化及び隣接交差点の改良を行うものである。						
H20年度事業化		S41年度都市計画決定		工事未着手		
全体事業費		約45億円		事業進捗率 (H21年度末現在)	4%	供用済延長 0.0 km
計画交通量		44,200 台/日				
費用対効果 分析結果		B/C (3便益) (事業全体) 2.6 (残事業) 2.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 40 / 41 億円 事業費：38/40 億円 維持管理費：1.7/1.7億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 108 / 108 億円 走行時間短縮便益：84/84 億円 走行費用減少便益：17/17 億円 交通事故減少便益：7.5/7.5 億円	基準年 平成22年
感度分析の結果						
残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C= 3.6 (交通量+10%) B/C= 1.9 (交通量-10%) 事業費変動：B/C= 2.5 (事業費+10%) B/C= 3.0 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C= 2.6 (事業期間+20%) B/C= 2.8 (事業期間-20%)						
事業の効果等						
①円滑なモビリティの確保 ・損失時間の削減が見込まれる (6,641千人・時間/年⇒6,536千人・時間/年 約1.6%削減) ・現道における混雑時旅行速度の改善 (側道部12.1km/h⇒33.7、立体部12.1km/h⇒27.3km/h) ・国道2号経由の路線バスや徳山駅から国道315号方面への路線バスの利便性向上 ・下松市から徳山駅 (新幹線駅) へのアクセスが向上 (下松市役所～徳山駅：30分⇒22分) ②物流効率化の支援 ・徳山下松港 (特定重要港湾) から高速ICへのアクセスが向上 (徳山下松港～徳山東IC：28分⇒20分) ③国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上 (下松市役所～徳山駅：30分⇒22分) ④個性ある地域の形成 ・主要な観光地へのアクセス向上 (徳山動物園の入り込み客数 (H21)：321千人/年) ⑤歩行者・自転車のための生活空間の形成 ・電線の地中化により、自転車・奉公者空間の走行性が向上する。 ⑥安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。 ⑦安全な生活環境の確保 ・死傷事故件数の削減 (1,093件/年⇒1,083件/年 約0.9%削減) ⑧災害への備え ・国道2号が山口県地域防災計画における第1次緊急輸送道路として位置づけあり ・山陽自動車道の代替路線として機能する ⑨地球環境の保全 ・CO2排出削減量が約0.3千t/年 (約0.1%) 削減 (479.5千t/年⇒479.2千t/年) ⑩生活環境の改善・保全 ・NOX排出削減量が約2.4t/年 (約0.1%) 削減 (2,282.3t/年⇒2,279.9t/年) ・SPM排出削減量が約0.2t/年 (約0.1%) 削減 (185.3t/年⇒185.1t/年) ⑪環境への影響を考慮した結果 ・約0.3千t/年のCO2削減【0.09億円※】						
※ 供用後50年間の便益額として試算した値 (参考値)						

関係する地方公共団体等の意見	
本道路の整備により、慢性的な渋滞の解消が図られるとともに、沿線住民の利便性・安全性の向上、工場群へのアクセス改善などが期待されることから、周南市より早期整備の要望を受けている。	
山口県知事の意見	
本事業の実施により、国道2号の渋滞緩和や交通事故の減少等が見込まれるとともに、徳山東IC等の交通拠点へのアクセス性の向上が期待される。 今後も、まずは平面交差点改良の実施等による効果等を確認し、地域の合意形成を図りながら、計画的に事業を進めていただきたい。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
交通量の増加に伴い、慢性的な渋滞や交通事故が多発している。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
平成21年度末で事業進捗率は、4%である。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
現在、調査・設計を行っており、早期供用を目指し、事業を推進する。	
施設の構造や工法の変更等	
今後の実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。	
対応方針（原案）	事業継続
対応方針決定の理由	
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図	
凡 例 — 高速道路・一般有料道路 — 直轄国道 — 補助国道 — 主要地方道 — 一般県道	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

しゅうなんりったい

一般国道2号 周南立体

事業再評価

平成22年10月

国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

一般国道2号 周南立体

- 一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。
- 周南立体は、周南市孝田町から周南市徳山に至る延長3.5km区間の、交差点立体化及び交差点改良を行う事業である。

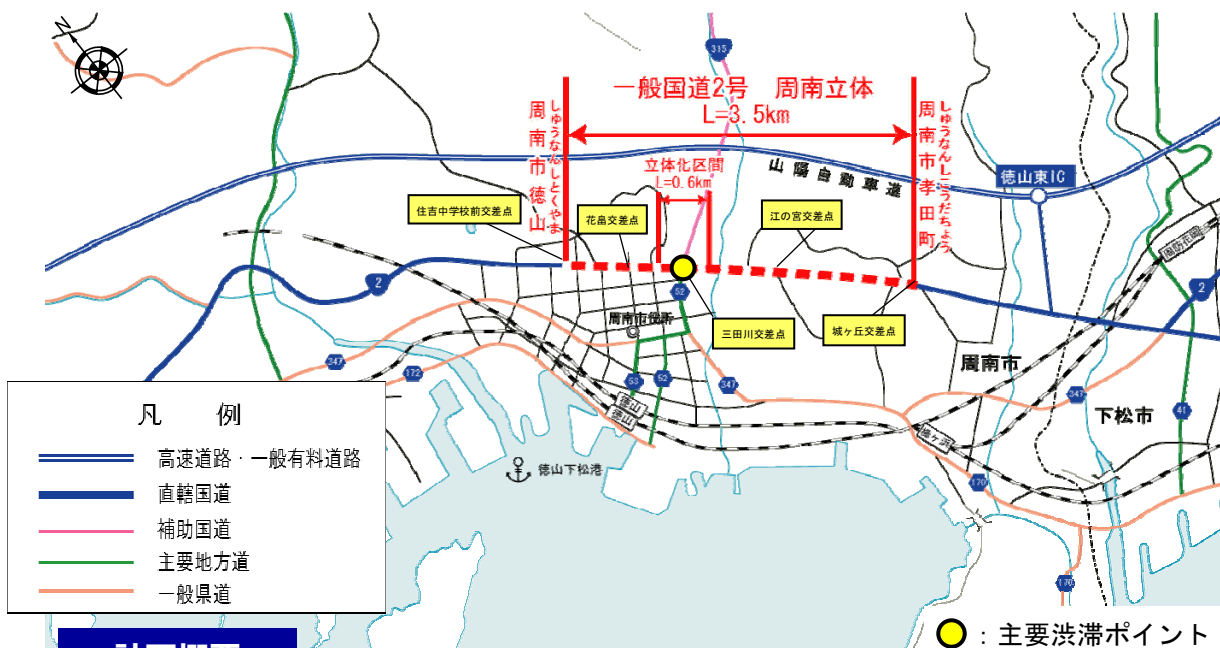


2. 事業概要及び経緯

一般国道2号 周南立体

(1) 事業概要

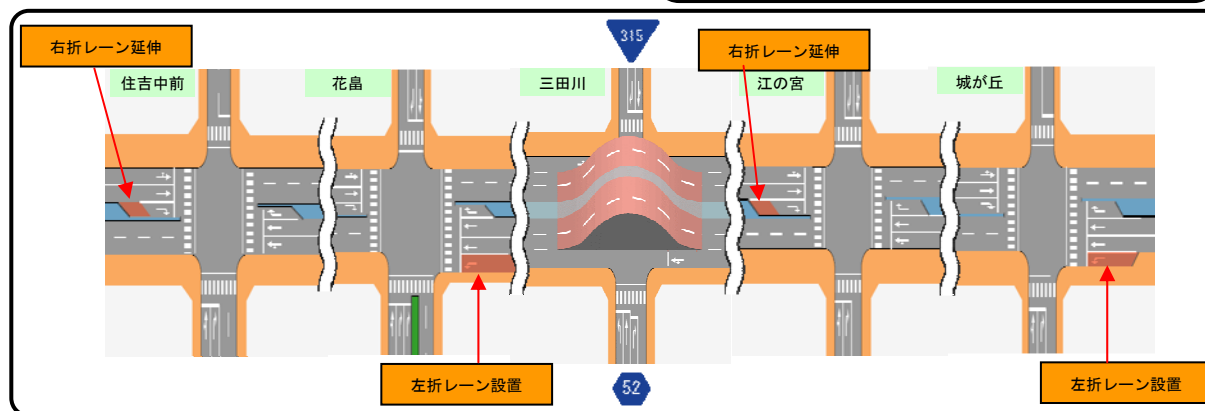
・周南立体は、周南市内の慢性的な交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域経済の発展等を目的として、主要渋滞ポイント三田川交差点を跨ぐ交差点立体化及び隣接交差点の改良を行うものである。



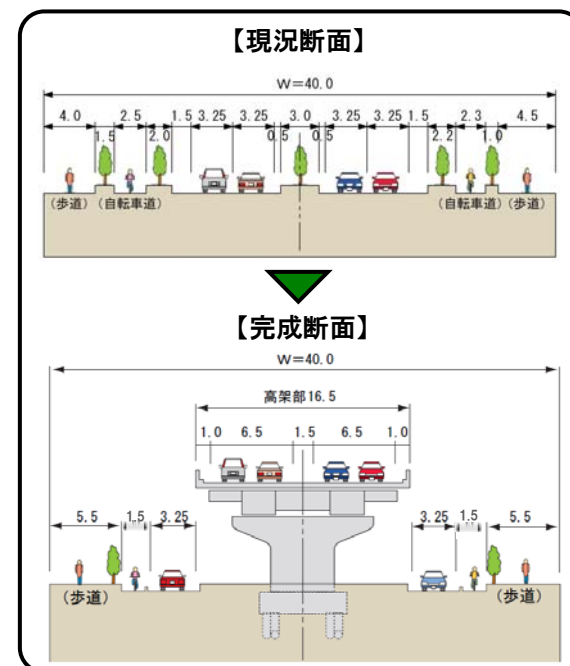
計画概要

起 終 点	やまぐちけんしゅうなんしこうだちよう 起点：山口県周南市孝田町 やまぐちけんしゅうなんしとくやま 終点：山口県周南市徳山
計画延長	L=3.5km
道路規格	第4種第1級
設計速度	60km/h
車 線 数	4車線
計画幅員	W=40m（高架部：W=16.5m）

周南立体整備イメージ図



標準断面図

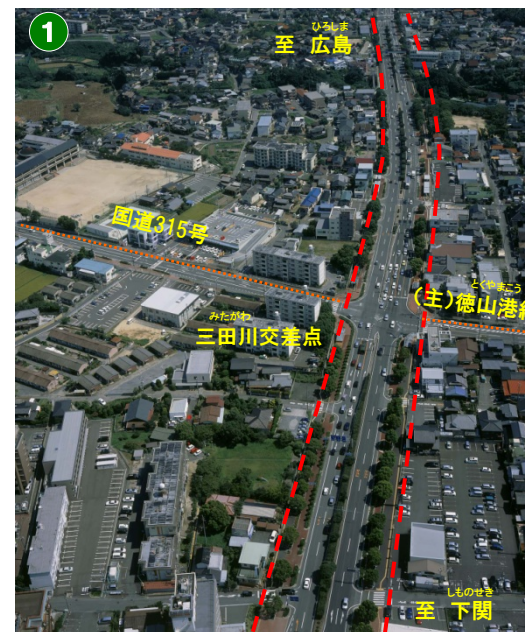


2. 事業概要及び経緯

(2) 事業の経緯及び進捗状況

一般国道2号 周南立体

・周南立体は平成20年度に事業着手し、調査・設計を実施している。



【下関側から広島方面を望む】

事業の経緯

都市計画決定	昭和41年
事業化年度	平成20年度

事業全体の進捗状況(平成21年度末時点)

用地	—
工事	0%
全体	4%

※完成事業費に対する割合

凡 例

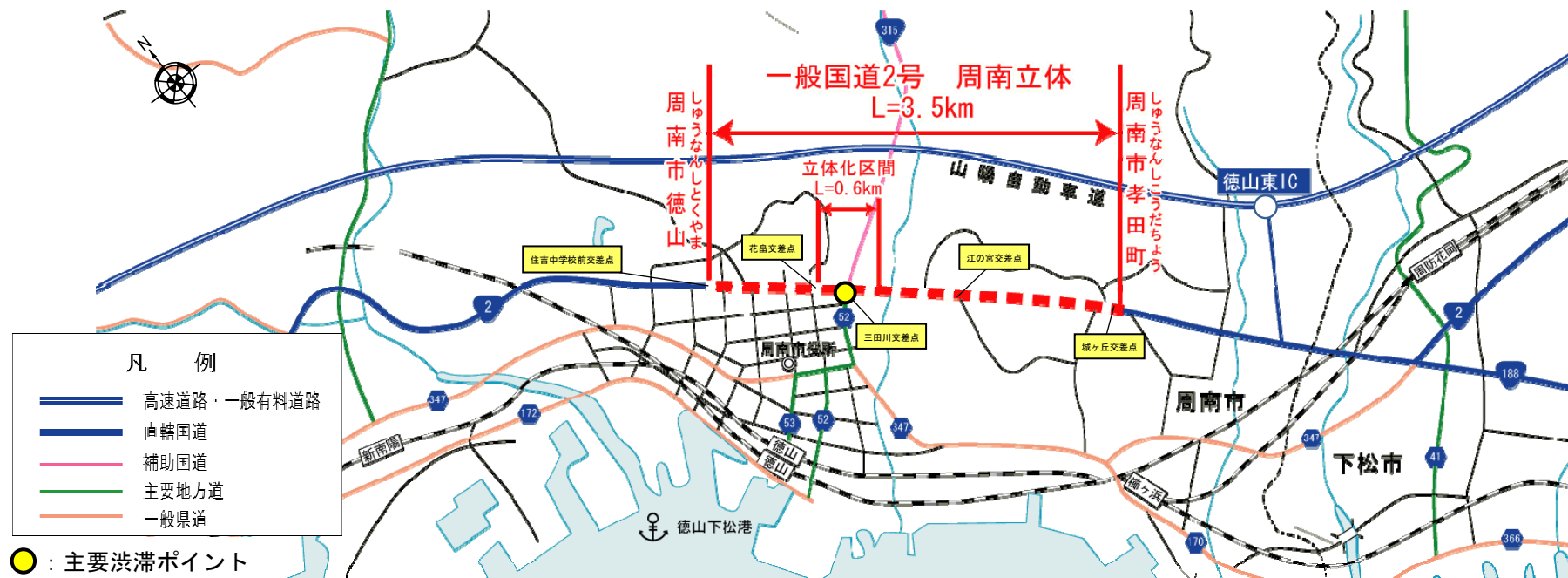
- 高速道路・一般有料道路
- 直轄国道
- 補助国道
- 主要地方道
- 一般県道



【完成予想図】

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 周南立体



課題①: 国道2号で発生する渋滞

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒損失時間の削減、環境負荷の低減

課題②: 国道2号で多発する交通事故

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒交通事故件数の削減

課題③: 物流ネットワークの形成

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒走行時間短縮による物流効率化の支援

課題④: 観光振興の支援

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒走行時間短縮による観光の支援

課題⑤: 重症患者等の救急救命

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒走行時間短縮により、救急医療に寄与

課題⑥: 山陽自動車道等の通行止めによる国道2号への負荷

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒リダンダンシー機能の確保

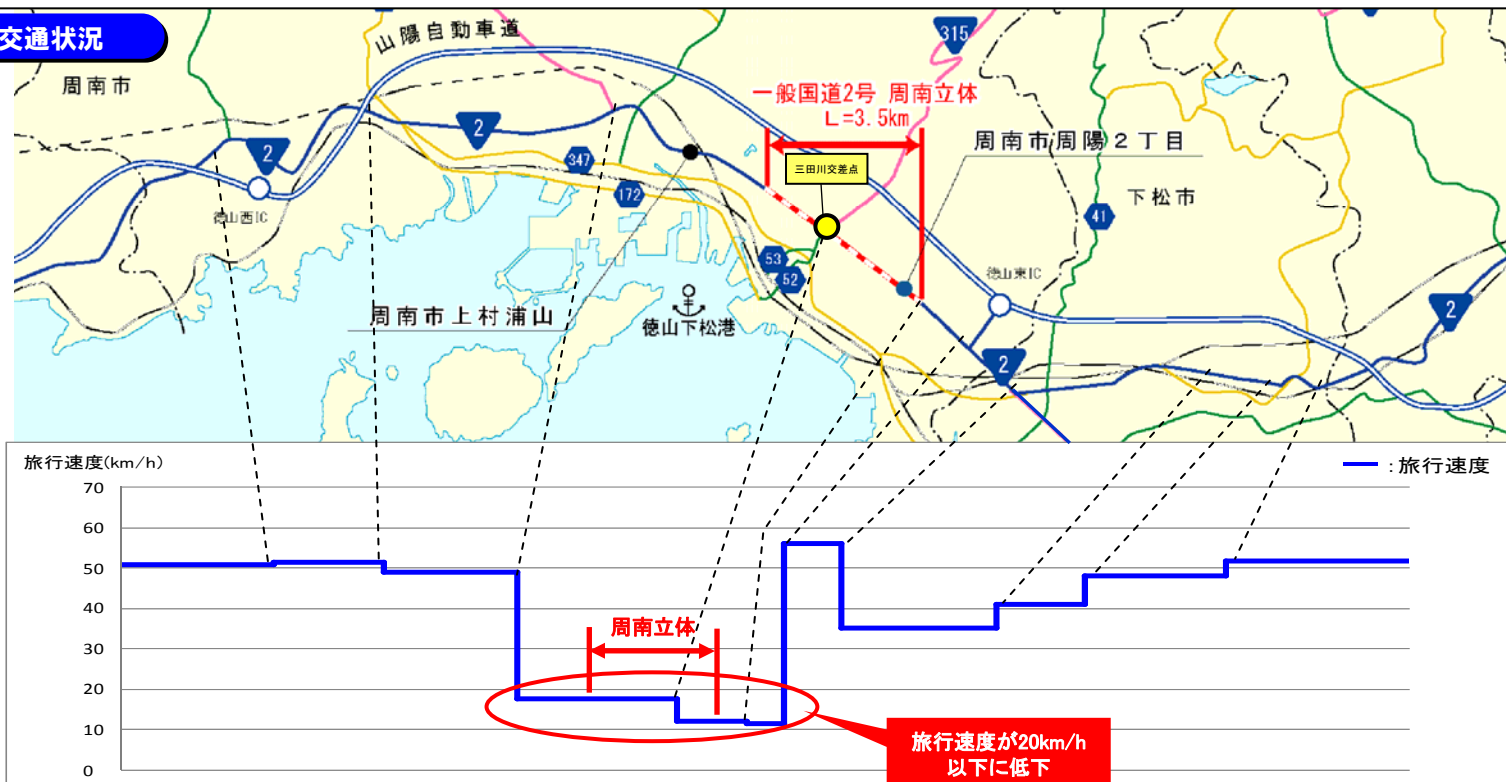
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 周南立体

課題① 国道2号で発生する渋滞

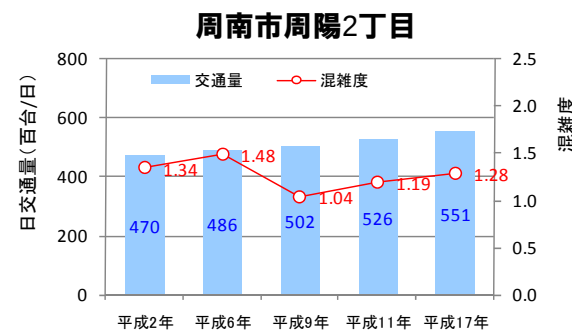
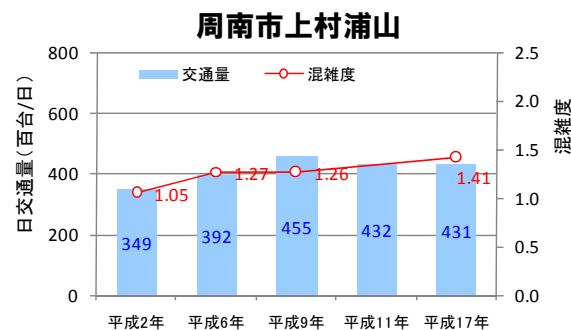
- ・国道2号の交通量は、約40,000～50,000台/日で推移しており、交通容量を超過している。
- ・三田川交差点付近では国道315号等からの流入交通により渋滞が発生し、旅行速度が20km/h以下に低下している。

国道2号の交通状況



資料/道路交通センサス (H17)

交通量の推移

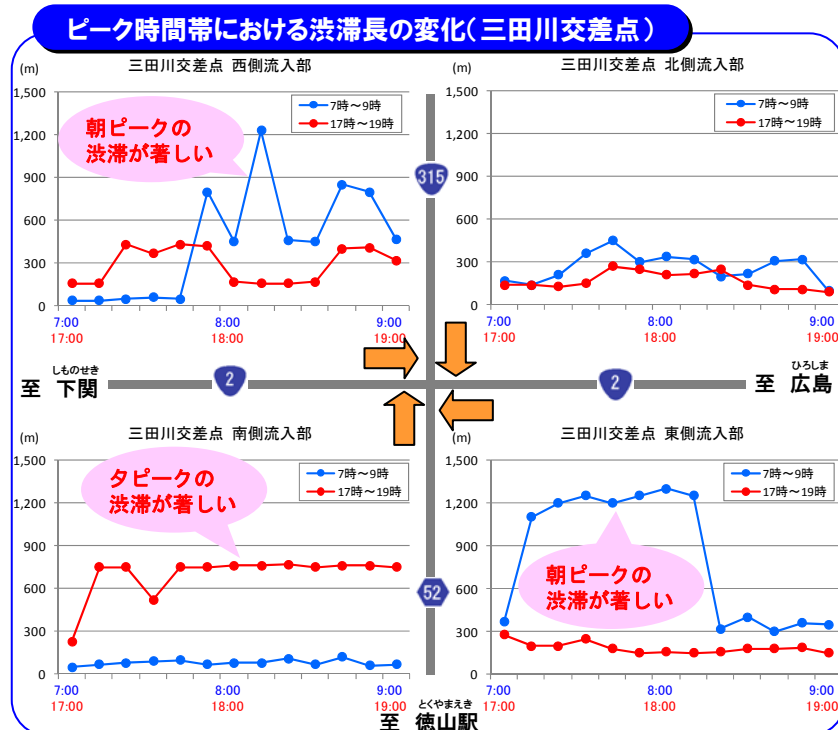


資料/道路交通センサス (H2～H17)

課題① 国道2号で発生する渋滞

一般国道2号 周南立体

・三田川交差点は、朝・夕ピーク時間帯を中心に慢性的な交通渋滞が発生し、渋滞長が上下線とも1000mを超える。



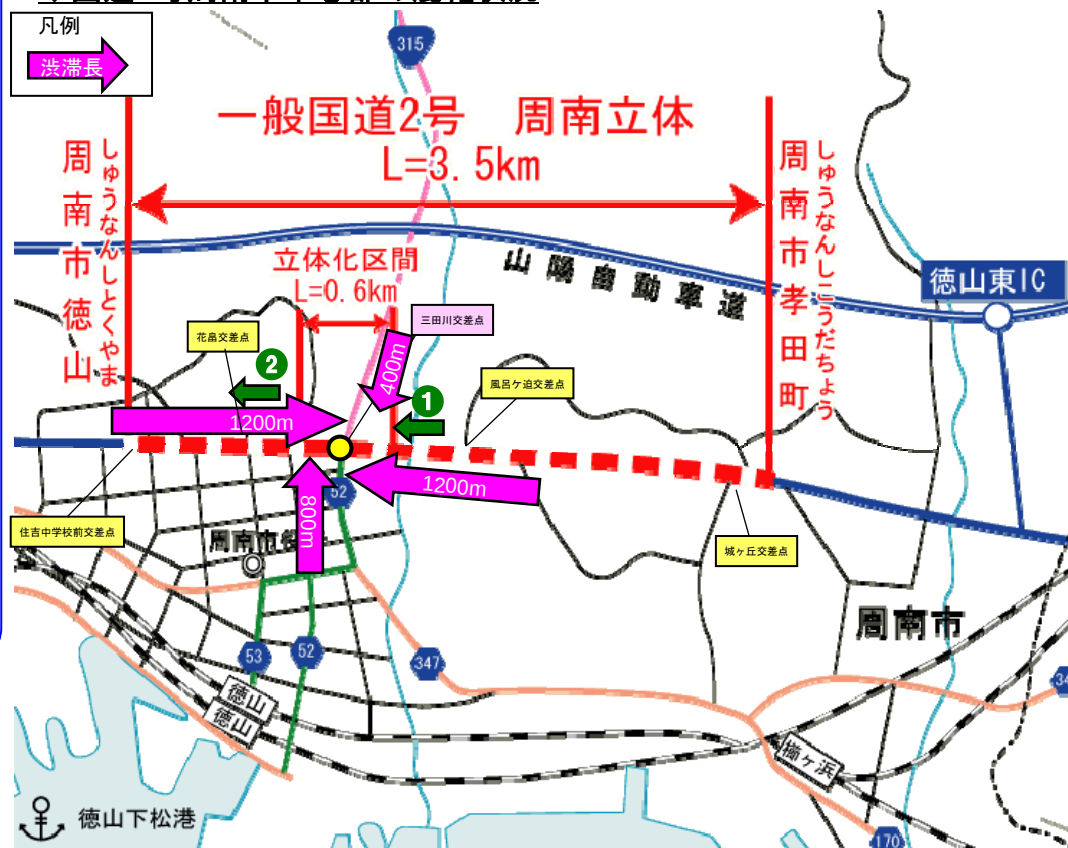
朝ピーク：平成19年11月21日（水）、夕ピーク：平成19年10月24日（水）調査



【三田川交差点付近（下り車線／左）朝ピーク】

【花畠交差点付近（上り車線／右）タピーク】

◆国道2号周南市中心部の混雑状況



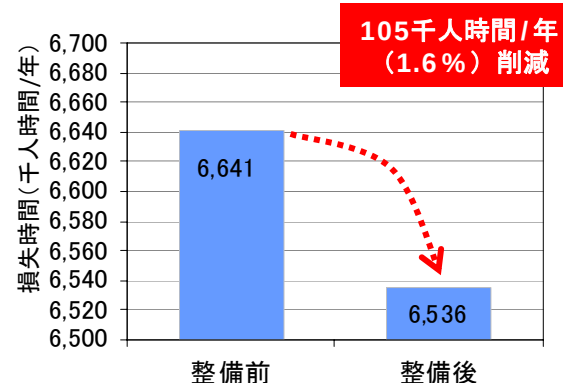
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 周南立体

<期待される道路の役割(効果)> 渋滞緩和と環境負荷の低減

- ・周南立体整備により、損失時間、沿道環境の改善が期待される。

損失時間の変化



※各時点の交通配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出
 ※損失時間量算定式：客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法（案）
 ※損失時間量算出対象範囲は、費用便益分析対象範囲と同じ

環境への影響を配慮した効果(試算した参考値)

■ 削減されるCO2排出量:0.3(千トン/年)

■ C(炭素)に換算した排出量:0.08(千トン/年)

■ CO2排出量削減による効果
 $80(\text{トン/年}) \times 10,600\text{円/トン} = 85\text{万円/年}$

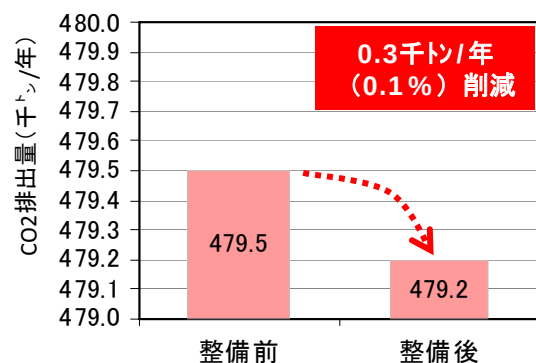
CO2貨幣価値換算単位10,600千円/トン・C
 「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針
 (共通編) 平成20年6月 国土交通省」

■ 50年間の単純合計:0.43億円
 ■ 基準年における現在価値:0.09億円※

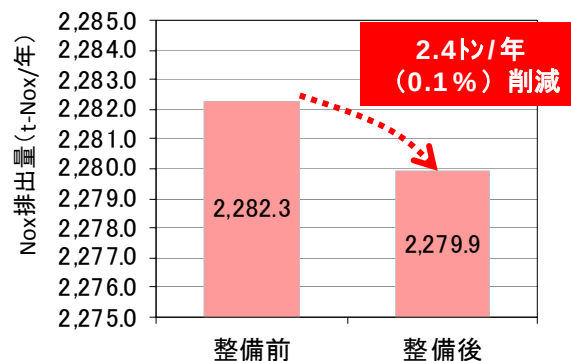
※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

CO2・NOx・SPMの低減

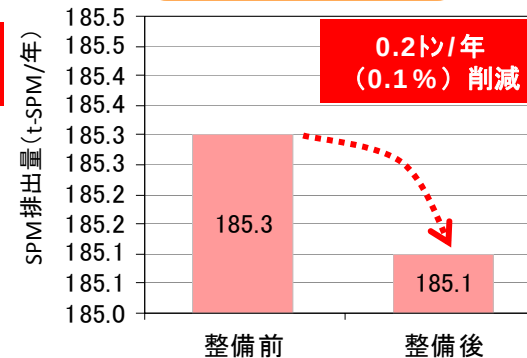
CO2排出量



Nox排出量



SPM排出量



※各時点の交通配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出
 ※各排出量算定式：客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法（案）
 ※各排出量算出対象範囲は、費用便益分析対象範囲と同じ

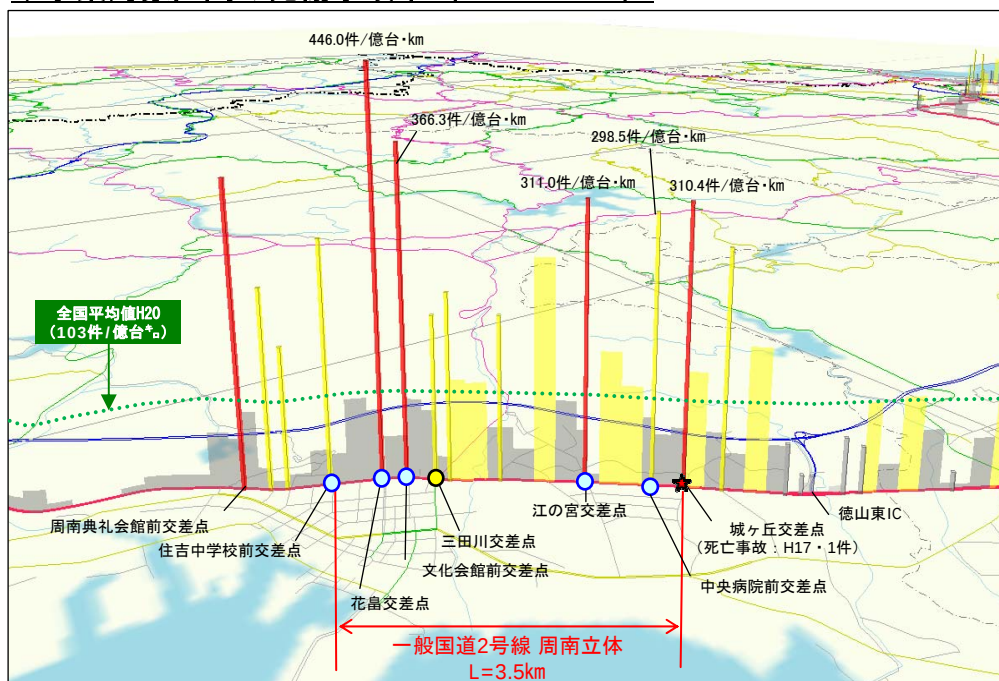
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 周南立体

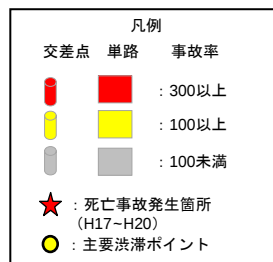
課題② 国道2号で多発する交通事故

- ・事業対象区間は高い死傷事故率を示しており、全国平均値(103件/億台[※])を上回っている。
- ・死傷事故は、交差点で約6割発生しており、追突事故の割合が全体の約5割を占める。
- ・三田川交差点の立体化や隣接交差点の改良により、死傷事故件数の削減が期待される。

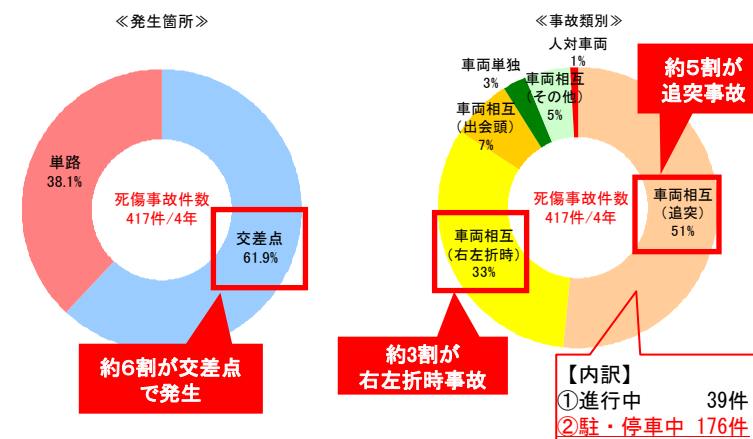
◆事業対象区間の死傷事故率 (H17~H20)



資料／ H17~H20交通事故統合データベース

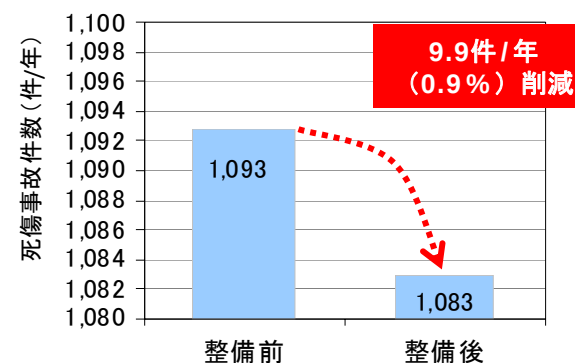


事業対象区間における死傷事故の特性



資料／H17~H20交通事故統合データベース

●期待される道路の役割(効果)



※各時点の交通量配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出
 ※人身事故件数算定式: 交通事故減少便益の原単位の算出方法 (H20年11月国土交通省)
 ※死傷事故件数算出対象範囲は、費用便益分析対象範囲と同じ

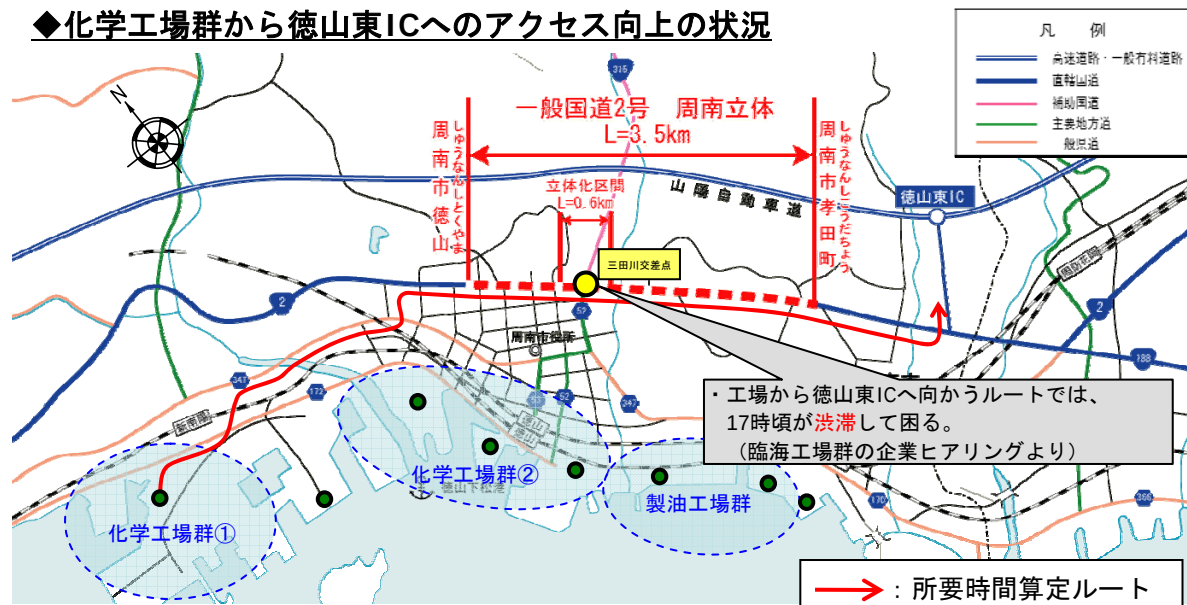
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 周南立体

課題③ 物流ネットワークの形成

- ・特定重要港湾である徳山下松港周辺は石油コンビナートや工場が集積している。
- ・周南立体整備により、臨海部から徳山東ICまでのアクセス時間が短縮され、物流効率化が期待される。

◆化学工場群から徳山東ICへのアクセス向上の状況



●期待される道路の役割(効果)



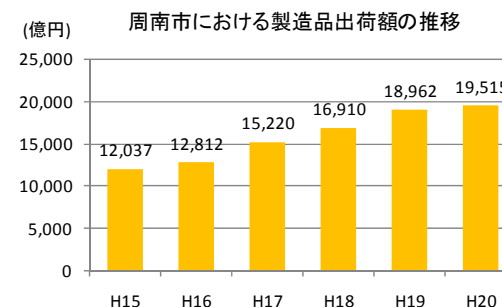
※現況の所要時間は、H17道路交通センサス平日混雑時旅行速度で算出
※整備後の所要時間は、立体化区間をV=50km/hで算出
その他事業区間をV=35km/hで算出

徳山下松港 搬出・搬入量



資料/港湾統計(陸上出入貨物調査)

周南市の製造品出荷額の推移



資料/工業統計(経済産業省)

トピックス

・H20.8.27、徳山下松港が「臨海部産業エリア形成促進港」に全国初指定。バルク貨物船の拠点港へ。

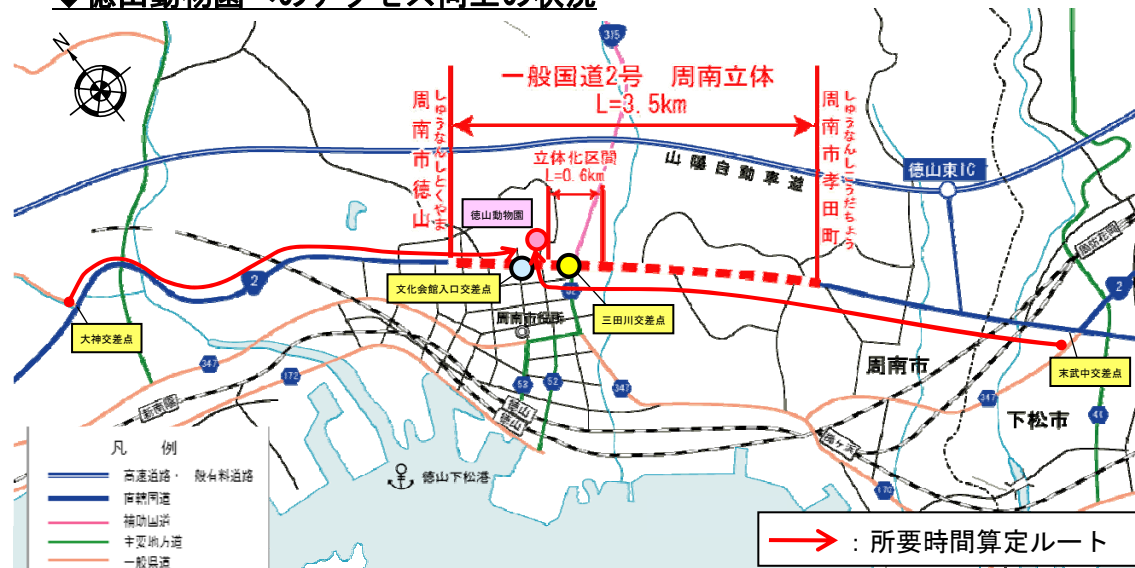
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 周南立体

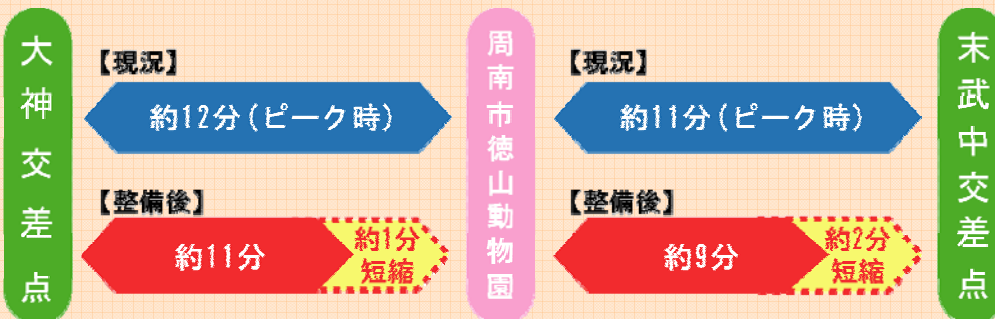
課題④ 観光振興の支援

- ・周南市の観光施設である徳山動物園では、人気者の動物が脚光を浴びて観光客数が年々増加。
- ・周南市は徳山動物園を市の観光拠点とするため、段階的なリニューアルを予定。
- ・周南立体の整備により、国道2号の混雑緩和が図られ、同動物園へのアクセス性向上が期待される。

◆徳山動物園へのアクセス向上の状況



●期待される道路の役割(効果)

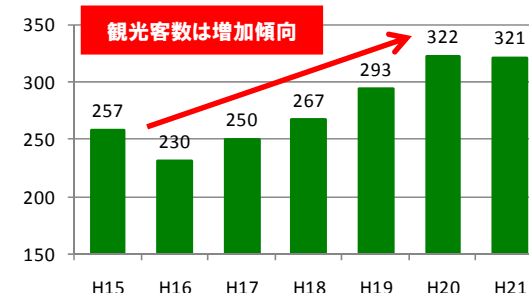


徳山動物園へのアクセス時間が短縮するとともに、渋滞によるイライラが解消

※現況の所要時間はH17道路交通センサス休日混雑時旅行速度で算出
 ※整備後の所要時間は立体化区間をV=50km/hとして算出、その他事業区間をV=35km/hで算出

周南市徳山動物園の観光客数

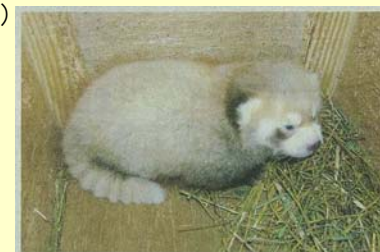
(千人/年) 徳山動物園における観光客数の推移



資料：山口県観光動態調査 (H15～H21)

トピックス

- ・徳山動物園の来場客数が1,450万人を突破。近年は来園者数も増加傾向。リニューアル計画による今後の来場者数増にも期待。(H22.4.3)
- ・徳山動物園にレッサーパンダの赤ちゃんが誕生。全国的な人気となった「風太」の孫。(H22.7.24)



周南市徳山動物園のリニューアル計画

周南市は、「周南市まちづくり総合計画 後期基本計画(案)」(H21.12)の中で重点推進プロジェクトの1つとして「動物園リニューアルの推進」を掲げている。

【推進施策の展開】

徳山動物園を、全面的にリニューアルすることにより、交流人口の拡大を図る。(H33年度開園予定)

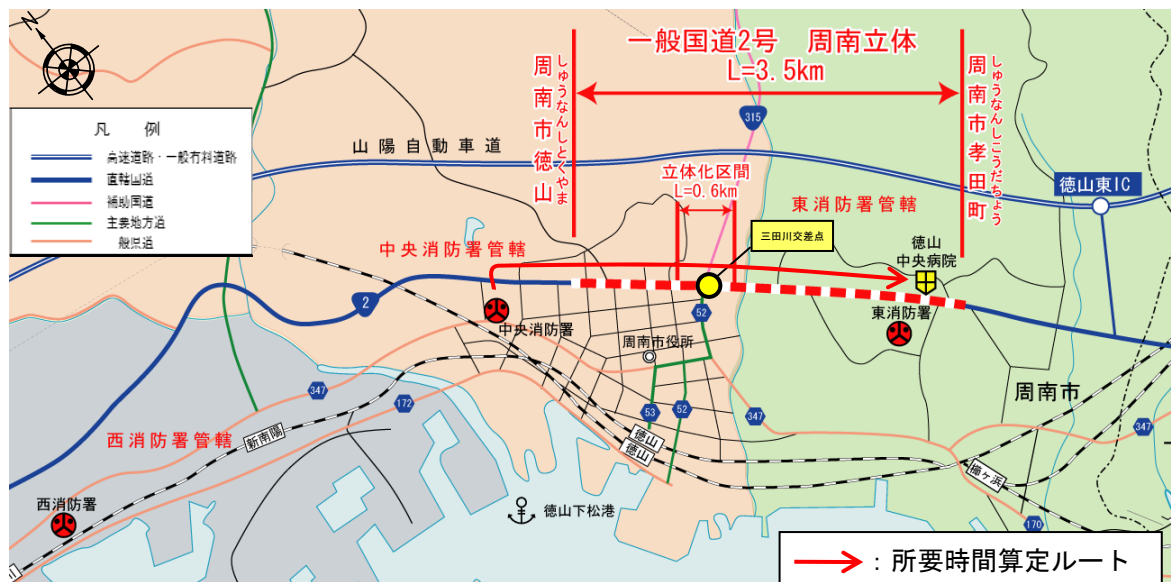
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 周南立体

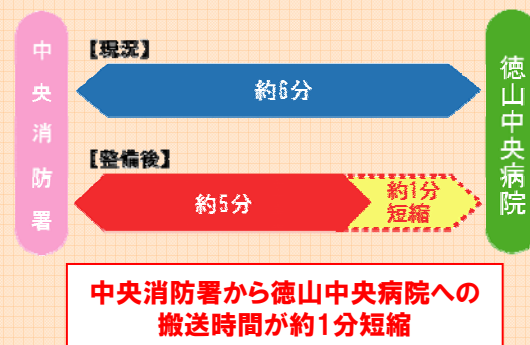
課題⑤ 重症患者等の救急救命－1

- ・中央消防署管内では、年間約1,700件の救急搬送が発生している。
- ・中央消防署から第二次救急医療施設である徳山中央病院までの搬送時間の短縮が期待される。

◆中央消防署から徳山中央病院へのアクセス状況



●期待される道路の役割(効果)



※現況の所要時間は中央消防署実績(40km/h)で算出
※整備後の所要時間は、規制速度V=50km/hで算出

地元消防署からの声

■現状の課題

- ・中央消防署、西消防署ともに国道2号を利用して、徳山中央病院へ搬送することが多い。
- ・国道2号の渋滞時には、別の並行ルートを利用する場合もある。しかし、三田川交差点が渋滞しているため、国道2号へ出るために時間がかかる。

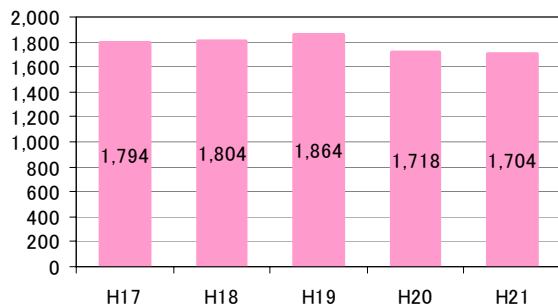
■周南立体への期待

- ・国道2号は路面状態がよいため、患者への負担が少ない道路であるので、周南立体により時間短縮が図られることはとても望ましい。

※周南市消防本部ヒアリング結果

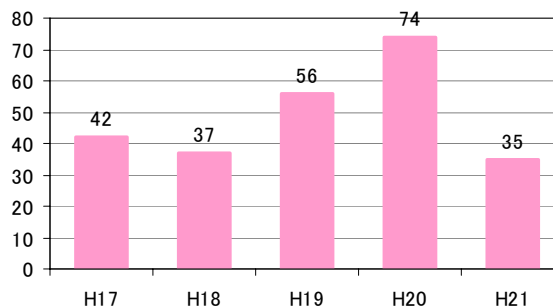
救急出動件数(中央消防署)

(件/年) 中央消防署における救急出動件数



重症患者の搬送件数(中央消防署)

(件/年) 徳山中央病院への重症患者の搬送件数



※周南市消防本部アンケート結果

徳山中央病院は、第三次救急医療機関として地域救命救急センターの整備が図られており、完成予定は、平成23年4月。

(山口県健康福祉部より聞き取り)

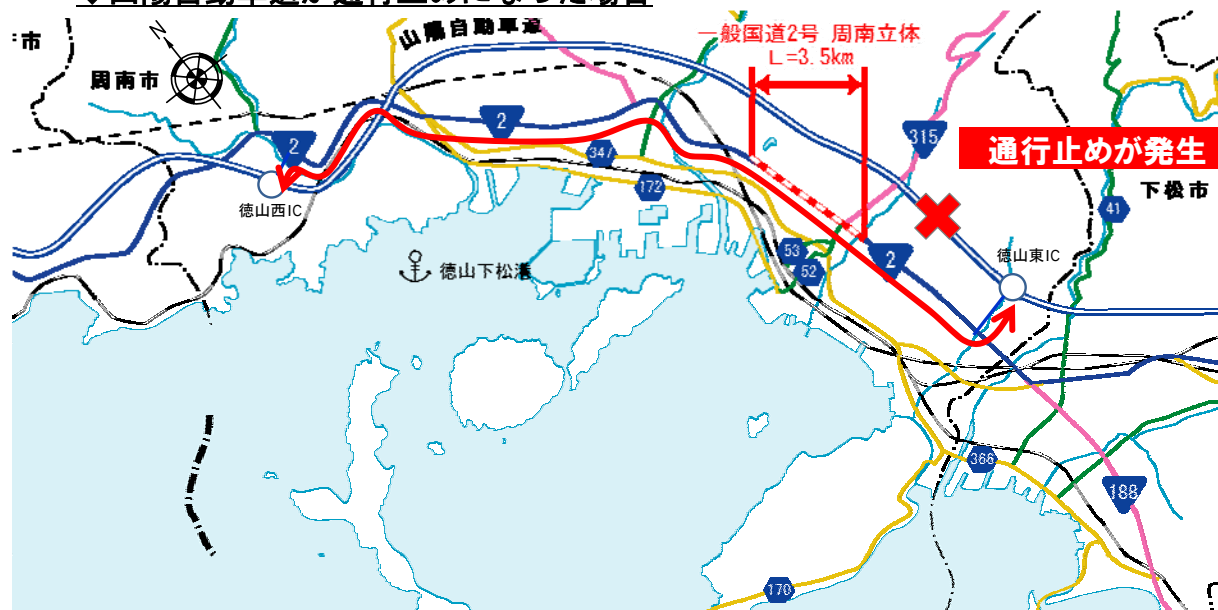
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道2号 周南立体

課題⑥ 山陽自動車道等の通行止めによる国道2号への負荷

- ・山陽自動車道(徳山東IC～徳山西IC)が通行止めになる場合、通過交通が国道2号を迂回路として利用する。
- ・周南立体の整備により、山陽自動車道のリダンダンシーが確保される。

◆山陽自動車道が通行止めになった場合



通行止めを考慮した効果(試算した参考値)

■山陽自動車道(徳山西IC～徳山東IC)の通行止め日数

0.411日/年
〔H12～H21の10ヶ年の平均、
全面・片方向通行止めの合計〕

■山陽自動車道(徳山西IC～徳山東IC)が通行止めとなった場合、周南立体整備により短縮される走行時間等を計測

■通行止め時に発生する効果

0.0063億円/年

■50年間の単純合計

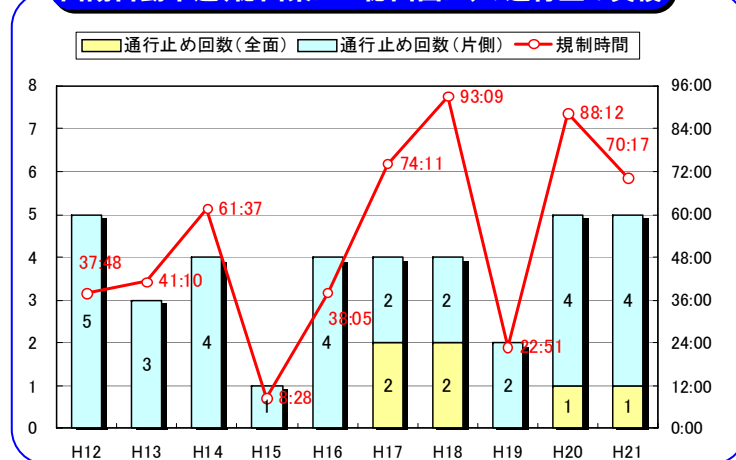
0.29億円

■基準年における現在価値

0.12億円※

※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

山陽自動車道(徳山東IC～徳山西IC)の通行止め実績



山陽自動車道(徳山東IC～徳山西IC)では、年平均4回、約10時間の通行止めが発生

5. 事業の効果

一般国道2号 周南立体

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

(億円)

項 目	全体事業	残事業
費用 (C)	41	40
事業費	40	38
維持管理費	1.7	1.7
便益額 (B)	108	108
走行時間短縮便益	84	84
走行経費減少便益	17	17
交通事故減少便益	7.5	7.5
費用便益比	2.6	2.7

便益計測対象項目	内 容
走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮される効果を貨幣価値として計測する。
走行経費減少便益	道路整備によって混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行経費には燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額、交通渋滞による損失額が含まれる。

◆道路の役割

■道路の役割 (+ α)

- ①環境への影響を考慮した効果 [約0.3千トン/年のCO2削減] 【0.09億円】※
- ②物流効率化の支援 [例] 化学工場群～徳山東IC間の所要時間短縮約9分]
- ③観光施設の支援 [例] 国道2号下り：徳山動物園入口交差点～末武中交差点間の所要時間短縮約2分]
- ④交通事故・災害による通行止め時の迂回路の確保 【0.29億円】※

※【 】内は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

	計画交通量	総事業費	総費用 (C)	3 便益 (B)	費用対効果 (B/C) () 内は残事業B/C
参考① (3 便益)	44,200台/日	45億円	41億円	108億円	2.6 (2.7)
参考② (その他の道路の役割を考慮)	44,200台/日	45億円	41億円	108億円 + α	—

※基準年：H22年

6. 今後の対応方針(原案)

一般国道2号 周南立体

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇交通量の増加に伴い、慢性的な渋滞や交通事故が多発している。
- ◇重要港湾徳山下松港の整備や臨海部工場の設備整備が進められており、高速道路ネットワークへの物流のアクセス向上が望まれる。

2) 事業の効果

- ◇費用便益比(B/C)=2.6(事業全体)=2.7(残事業)
- ◇道路の役割
 - ①環境への影響を考慮した効果[約0.3千トン/年のCO2削減]【0.09億円】※
 - ②物流効率化の支援[例)化学工場群～徳山東IC間の所要時間短縮約9分]
 - ③観光施設の支援[例)国道2号下り：徳山動物園入口交差点～末武中交差点間の所要時間短縮約2分]
 - ④交通事故・災害による通行止め時の迂回路の確保【0.29億円】※

※【 】内は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

3) 事業の進捗状況

- ◇事業進捗率は、4%である。

②事業の進捗見込み

- ◇現在、調査・設計を行っており、早期供用を目指し、事業を推進する。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

- ◇今後の実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。

2. 県への意見照会結果

【山口県】

本事業の実施により、国道2号の渋滞緩和や交通事故の減少等が見込まれるとともに、徳山東IC等の交通拠点へのアクセス性の向上が期待される。今後も、まずは平面交差点改良の実施等による効果等を確認し、地域の合意形成を図りながら、計画的に事業を進めていただきたい。

【今後の対応方針(原案)】

- ◇上記①、②の各視点により状況を勘案すれば、事業の必要性・重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業実施にあたっては、更なるコスト縮減に努力しつつ、効率的で効果的な事業を継続する。

◆前回評価時との比較

	新規事業採択時 (平成20年度)	今回評価時 (平成22年度)	備 考 (前回評価時からの変更点)
事業諸元	L=3.5km	L=3.5km	—
計画交通量	50,700台/日	44,200台/日	・交通需要推計の見直し(H20)による計画交通量の見直し
総事業費	約45億円	約45億円	—
総費用 (C)	56億円	41億円	・基準年の変更(H19基準からH22基準) ・維持管理費延長の見直し
総便益 (B)	183億円	108億円	・基準年の変更(H19基準からH22基準) ・交通需要推計の見直し(H20)による計画交通量の見直し ・「費用便益分析マニュアル」改定(H20)等による変更
費用対効果 (B/C)	3.3	2.6	・総費用及び総便益を見直したため

一般国道2号 周南立体

〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式１ 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道２号 周南立体
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（ B/C ）＝２．６（経済的純現在価値（ $B-C$ ）＝６．７億円、経済的内部収益率（ $EIRR$ ）＝１２．０％） 残事業：費用便益比（ B/C ）＝２．７（経済的純現在価値（ $B-C$ ）＝６．９億円、経済的内部収益率（ $EIRR$ ）＝１２．７％）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
１．活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b（当該区間／並行区間）について：（国道２号 周南立体区間（周南市幸田町～周南市大字徳山）） 渋滞損失時間（整備無）：６,６４１千人・時間/年 渋滞損失削減時間：１０５千人・時間/年（６,６４１千人・時間/年⇒６,５３６千人・時間/年）
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間（国道２号周南市周陽２丁目） 改善見込み（旅行速度：１２．１km/h→３３．７km/h（側道部）、２７．３km/h（立体部））
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が１０,０００台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	国道２号経由の路線バスの利便性向上、徳山駅から国道３１５号方面への路線バスの利便性向上
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	対象駅：徳山駅（新幹線駅） 対象自治体名：下松市・光市、改善見込み（下松市役所～徳山駅：３０分→２２分）
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象港湾：徳山下松港（特定重要港湾） 対象：高速ＩＣ、改善見込み（徳山東ＩＣ～徳山下松港：２８分→２０分）
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量２５ｔの車両もしくはＩＳＯ規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が１．５km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（３００戸以上又は１６ha以上、大都市においては１００戸以上又は５ha以上）への連絡道路となる	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		☐ 地域高規格道路の位置づけあり	
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名：下松市、光市 日常生活圏中心都市：周南市、改善見込み（下松市役所～徳山駅：30分→22分）
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	徳山動物園（H21）：321千人／年
		☐ 特別立法に基づく事業である	
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	電線の地中化により、自転車・歩行者空間の走行性が向上する。
		☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		■ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	市街地の無電柱化を達成する。
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	
3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

3. 安全	災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	山口県地域防災計画における第1次緊急輸送道路に位置付け
		☒ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	第一次緊急輸送道路である山陽自動車道の代替路線として機能
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：約0.3千t/年 排出削減率：約0.1%削減（整備なし 479.5千t/年、整備あり479.2千t/年）
	生活環境の改善・保全	☒ 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：無し NOxについて環境基準を達成している測定局数の実績：無し （推計結果） 評価対象区間：便益算定対象範囲 NOX排出削減量：約2.4t/年、排出削減率：約0.1%削減（整備なし2.282.3t/年⇒整備あり2.279.9t/年）
		☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：無し SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績：無し （推計結果） 評価対象区間：便益算定対象範囲 SPM排出削減量：約0.2t/年、排出削減率：約0.1%削減（整備なし185.3t/年⇒整備あり185.1t/年）
		☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	☒ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「道路の中期計画（中国地方版）（H21.8）」「みらいビジョン中国21”2009”（H21.8）」に位置付けあり
		☐ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		☒ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	「社会資本整備重点計画（H21.3.31）」に位置づけあり：臨海部産業エリア形成の推進（徳山下松港）
		☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道2号	周南立体	L= 3.5 km	2次改築	その他

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
44,200	4	中国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成22年度		
単純合計	43億円	4.6億円	47億円
うち残事業分	41億円	4.6億円	46億円
基準年における 現在価値 (C)	40億円	1.7億円	41億円
うち残事業分	38億円	1.7億円	40億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成22年度			
供 用 年	平成26年度			
単年便益 (初年便益)	4.7億円	0.98億円	0.42億円	6.1億円
基準年における 現在価値 (B)	84億円	17億円	7.5億円	108億円
うち残事業分	84億円	17億円	7.5億円	108億円

③ 結 果

費用便益比（B／C）	2.6
経済的純現在価値（B－C）	67億円
経済的内部収益率（EIRR）	12.0%
費用便益比（残事業）	2.7
経済的純現在価値（残事業）	69億円
経済的内部収益率（残事業）	12.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	44,200	±10%	1.9～3.6
事業費	41億円	±10%	2.5～3.0
事業期間	3年	±20%	2.6～2.8

交通状況の変化

様式－3①

事業名：周南立体（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 【0.6km】		交通量※ ¹	[台/日]	—	44,200
		走行時間※ ²	[分]	—	1
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	—	6.72
②主な周 辺道路※ ⁴	現道（国 道2号） 【3.5km】	交通量	[台/日]	43,400	37,800
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	54.18	45.09
	（一）下 松新南陽 線 【5.9km】	交通量	[台/日]	29,000	27,100
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	63.86	58.45
	（主）徳 山港線 【1.8km】	交通量	[台/日]	12,200	7,400
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	8.66	5.08
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 【367.1km】		走行時間費用	[億円/年]	753.04	759.87

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 【378.9km】	走行時間短縮便益	[億円/年]	879.74	875.21	4.53

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

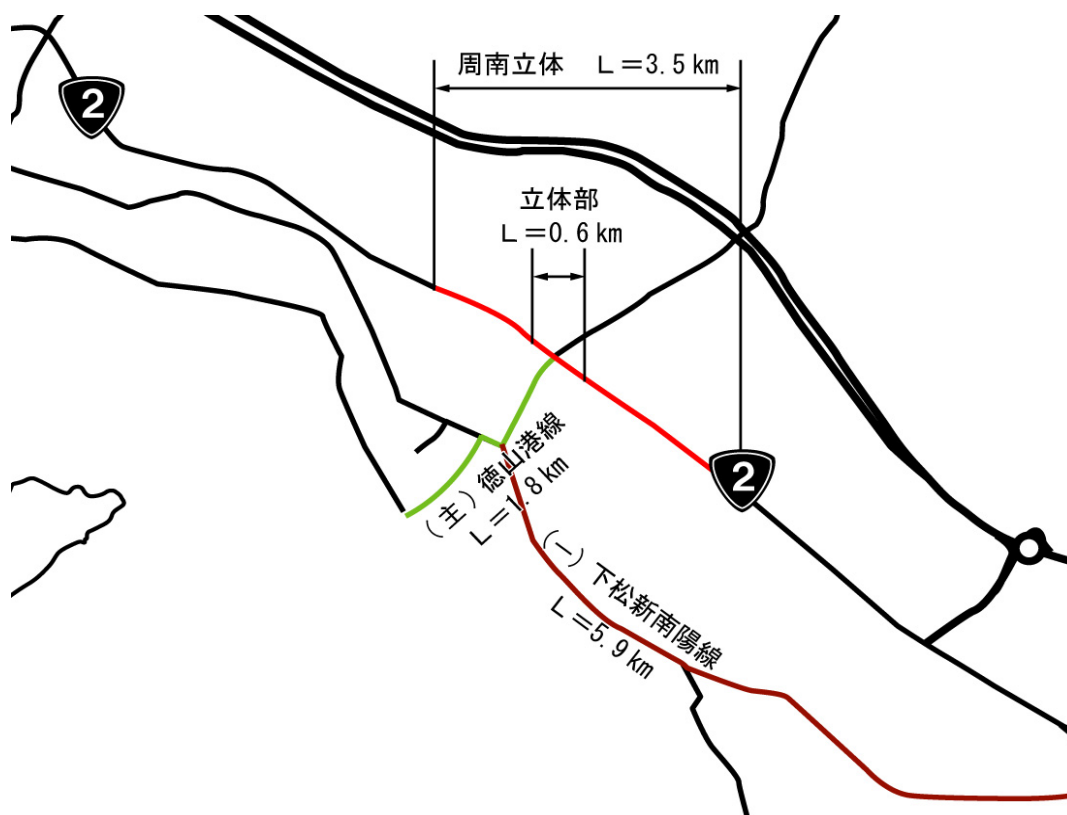
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－ 3 ①

事業名：周南立体（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 【0.6km】		交通量※ ¹	[台/日]	—	44,200
		走行時間※ ²	[分]	—	1
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	—	6.72
②主な周辺道路※ ⁴	現道（国道2号） 【3.5km】	交通量	[台/日]	43,400	37,800
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	54.18	45.09
	（一）下松新南陽線 【5.9km】	交通量	[台/日]	29,000	27,100
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	63.86	58.45
	（主）徳山港線 【1.8km】	交通量	[台/日]	12,200	7,400
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	8.66	5.08
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 【367.1km】		走行時間費用	[億円/年]	753.04	759.87

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 【378.9km】	走行時間短縮便益	[億円/年]	879.74	875.21	4.53

※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

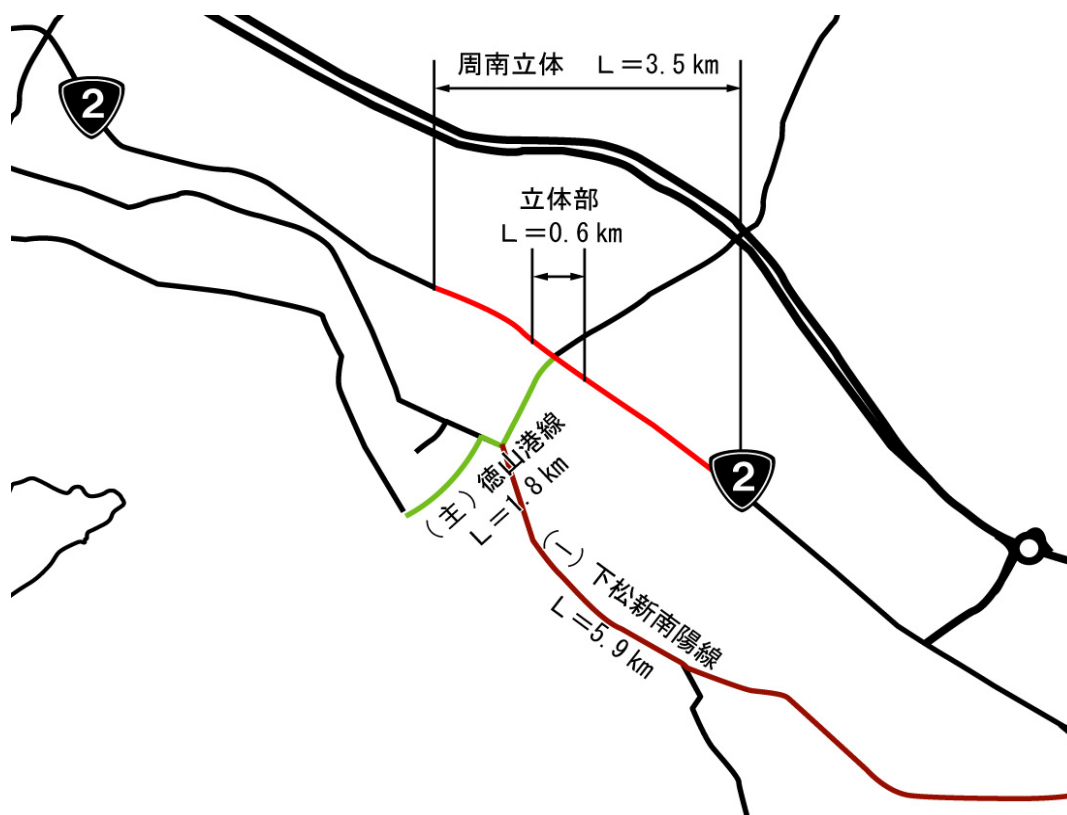
※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※ 5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：周南立体

(2)

項目			チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		☒	
	その他		☐	
分析の基本的事項	分析対象期間		50年間	
	社会的割引率		4%	
	基準年次		H22年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42年)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐
		その他()		☐
	開発交通量の 考慮	無		☒
		有		☐
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
	配分交通量の 推計手法	Q－V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q－V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		☐		
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定		☐	
	採用理由を記載			
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)		☒		

(3)

	項目	チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	☐
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	☐
	冬期交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒	
		その他 ()	☐	
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒	
独自に設定した値を使用		☐		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	☐		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☒		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	☒		
	考慮する	☐		
その他				

(4)

[illegible]

費用の現在価値算定表

箇所名:周南立体(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
				0.16	0.6	0.10	
-6年目	H 20	1.0816	91.3	0.70	0.76		
-5年目	H 21	1.0400	91.3	0.63	0.66		
-4年目	H 22	1.0000	91.3	0.21	0.21		
-3年目	H 23	0.9615	91.3	11.81	11.36		
-2年目	H 24	0.9246	91.3	13.81	12.77		
-1年目	H 25	0.8890	91.3	15.70	13.96		
供用開始年次	H 26	0.8548	91.3			0.09	0.08
1年目	H 27	0.8219	91.3			0.09	0.08
2年目	H 28	0.7903	91.3			0.09	0.07
3年目	H 29	0.7599	91.3			0.09	0.07
4年目	H 30	0.7307	91.3			0.09	0.07
5年目	H 31	0.7026	91.3			0.09	0.06
6年目	H 32	0.6756	91.3			0.09	0.06
7年目	H 33	0.6496	91.3			0.09	0.06
8年目	H 34	0.6246	91.3			0.09	0.06
9年目	H 35	0.6006	91.3			0.09	0.05
10年目	H 36	0.5775	91.3			0.09	0.05
11年目	H 37	0.5553	91.3			0.09	0.05
12年目	H 38	0.5339	91.3			0.09	0.05
13年目	H 39	0.5134	91.3			0.09	0.05
14年目	H 40	0.4936	91.3			0.09	0.05
15年目	H 41	0.4746	91.3			0.09	0.04
16年目	H 42	0.4564	91.3			0.09	0.04
17年目	H 43	0.4388	91.3			0.09	0.04
18年目	H 44	0.4220	91.3			0.09	0.04
19年目	H 45	0.4057	91.3			0.09	0.04
20年目	H 46	0.3901	91.3			0.09	0.04
21年目	H 47	0.3751	91.3			0.09	0.03
22年目	H 48	0.3607	91.3			0.09	0.03
23年目	H 49	0.3468	91.3			0.09	0.03
24年目	H 50	0.3335	91.3			0.09	0.03
25年目	H 51	0.3207	91.3			0.09	0.03
26年目	H 52	0.3083	91.3			0.09	0.03
27年目	H 53	0.2965	91.3			0.09	0.03
28年目	H 54	0.2851	91.3			0.09	0.03
29年目	H 55	0.2741	91.3			0.09	0.03
30年目	H 56	0.2636	91.3			0.09	0.02
31年目	H 57	0.2534	91.3			0.09	0.02
32年目	H 58	0.2437	91.3			0.09	0.02
33年目	H 59	0.2343	91.3			0.09	0.02
34年目	H 60	0.2253	91.3			0.09	0.02
35年目	H 61	0.2166	91.3			0.09	0.02
36年目	H 62	0.2083	91.3			0.09	0.02
37年目	H 63	0.2003	91.3			0.09	0.02
38年目	H 64	0.1926	91.3			0.09	0.02
39年目	H 65	0.1852	91.3			0.09	0.02
40年目	H 66	0.1780	91.3			0.09	0.02
41年目	H 67	0.1712	91.3			0.09	0.02
42年目	H 68	0.1646	91.3			0.09	0.02
43年目	H 69	0.1583	91.3			0.09	0.01
44年目	H 70	0.1522	91.3			0.09	0.01
45年目	H 71	0.1463	91.3			0.09	0.01
46年目	H 72	0.1407	91.3			0.09	0.01
47年目	H 73	0.1353	91.3			0.09	0.01
48年目	H 74	0.1301	91.3			0.09	0.01
49年目	H 75	0.1251	91.3	0.00	0.00	0.09	0.01
合 計				42.86	39.70	4.57	1.75
単純事業費計				42.86		4.57	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:周南立体(残事業)

箇所名:周南立体(残事業)					維持管理費の単純単価の算出(将来価格に換算)		
					単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
					0.16	0.6	0.10
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-3年目	H 23	0.9615	91.3	11.81	11.36		
-2年目	H 24	0.9246	91.3	13.81	12.77		
-1年目	H 25	0.8890	91.3	15.70	13.96		
供用開始年次	H 26	0.8548	91.3			0.09	0.08
1年目	H 27	0.8219	91.3			0.09	0.08
2年目	H 28	0.7903	91.3			0.09	0.07
3年目	H 29	0.7599	91.3			0.09	0.07
4年目	H 30	0.7307	91.3			0.09	0.07
5年目	H 31	0.7026	91.3			0.09	0.06
6年目	H 32	0.6756	91.3			0.09	0.06
7年目	H 33	0.6496	91.3			0.09	0.06
8年目	H 34	0.6246	91.3			0.09	0.06
9年目	H 35	0.6006	91.3			0.09	0.05
10年目	H 36	0.5775	91.3			0.09	0.05
11年目	H 37	0.5553	91.3			0.09	0.05
12年目	H 38	0.5339	91.3			0.09	0.05
13年目	H 39	0.5134	91.3			0.09	0.05
14年目	H 40	0.4936	91.3			0.09	0.05
15年目	H 41	0.4746	91.3			0.09	0.04
16年目	H 42	0.4564	91.3			0.09	0.04
17年目	H 43	0.4388	91.3			0.09	0.04
18年目	H 44	0.4220	91.3			0.09	0.04
19年目	H 45	0.4057	91.3			0.09	0.04
20年目	H 46	0.3901	91.3			0.09	0.04
21年目	H 47	0.3751	91.3			0.09	0.03
22年目	H 48	0.3607	91.3			0.09	0.03
23年目	H 49	0.3468	91.3			0.09	0.03
24年目	H 50	0.3335	91.3			0.09	0.03
25年目	H 51	0.3207	91.3			0.09	0.03
26年目	H 52	0.3083	91.3			0.09	0.03
27年目	H 53	0.2965	91.3			0.09	0.03
28年目	H 54	0.2851	91.3			0.09	0.03
29年目	H 55	0.2741	91.3			0.09	0.03
30年目	H 56	0.2636	91.3			0.09	0.02
31年目	H 57	0.2534	91.3			0.09	0.02
32年目	H 58	0.2437	91.3			0.09	0.02
33年目	H 59	0.2343	91.3			0.09	0.02
34年目	H 60	0.2253	91.3			0.09	0.02
35年目	H 61	0.2166	91.3			0.09	0.02
36年目	H 62	0.2083	91.3			0.09	0.02
37年目	H 63	0.2003	91.3			0.09	0.02
38年目	H 64	0.1926	91.3			0.09	0.02
39年目	H 65	0.1852	91.3			0.09	0.02
40年目	H 66	0.1780	91.3			0.09	0.02
41年目	H 67	0.1712	91.3			0.09	0.02
42年目	H 68	0.1646	91.3			0.09	0.02
43年目	H 69	0.1583	91.3			0.09	0.01
44年目	H 70	0.1522	91.3			0.09	0.01
45年目	H 71	0.1463	91.3			0.09	0.01
46年目	H 72	0.1407	91.3			0.09	0.01
47年目	H 73	0.1353	91.3			0.09	0.01
48年目	H 74	0.1301	91.3			0.09	0.01
49年目	H 75	0.1251	91.3			0.09	0.01
合 計				41.32	38.08	4.57	1.75
単純事業費計				41.32		4.57	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

便益の現在価値算定表

箇所名:周南立体(事業全体)

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	割引率4%
供用開始年次	H 26	0.99805	0.99756	0.99789	0.8548	91.3	3.54	0.44	0.72	4.69	4.01	0.79	0.05	0.14	0.98	0.84	0.42	0.36	6.09	5.21
1年目	H 27	0.99804	0.99755	0.99788	0.8219	91.3	3.53	0.44	0.72	4.68	3.85	0.79	0.05	0.14	0.98	0.80	0.42	0.35	6.08	5.00
2年目	H 28	0.99804	0.99754	0.99788	0.7903	91.3	3.52	0.44	0.72	4.67	3.69	0.79	0.05	0.14	0.98	0.77	0.42	0.33	6.07	4.80
3年目	H 29	0.99803	0.99754	0.99788	0.7599	91.3	3.51	0.43	0.72	4.66	3.54	0.78	0.05	0.14	0.97	0.74	0.42	0.32	6.06	4.60
4年目	H 30	0.99803	0.99753	0.99787	0.7307	91.3	3.51	0.43	0.71	4.65	3.40	0.78	0.05	0.14	0.97	0.71	0.42	0.31	6.04	4.42
5年目	H 31	0.99803	0.99753	0.99787	0.7026	91.3	3.50	0.43	0.71	4.65	3.26	0.78	0.05	0.14	0.97	0.68	0.42	0.29	6.03	4.24
6年目	H 32	0.99802	0.99752	0.99786	0.6756	91.3	3.49	0.43	0.71	4.64	3.13	0.78	0.05	0.14	0.97	0.65	0.42	0.28	6.02	4.07
7年目	H 33	0.99742	0.99874	0.99785	0.6496	91.3	3.49	0.43	0.71	4.62	3.00	0.78	0.05	0.14	0.97	0.63	0.42	0.27	6.01	3.90
8年目	H 34	0.99742	0.99874	0.99784	0.6246	91.3	3.48	0.43	0.71	4.61	2.88	0.78	0.05	0.14	0.96	0.60	0.41	0.26	5.99	3.74
9年目	H 35	0.99741	0.99874	0.99784	0.6006	91.3	3.47	0.43	0.71	4.60	2.77	0.77	0.05	0.14	0.96	0.58	0.41	0.25	5.98	3.59
10年目	H 36	0.99740	0.99874	0.99783	0.5775	91.3	3.46	0.43	0.71	4.59	2.65	0.77	0.05	0.14	0.96	0.55	0.41	0.24	5.96	3.44
11年目	H 37	0.99740	0.99874	0.99783	0.5553	91.3	3.45	0.43	0.71	4.58	2.55	0.77	0.05	0.14	0.96	0.53	0.41	0.23	5.95	3.30
12年目	H 38	0.99739	0.99873	0.99782	0.5339	91.3	3.44	0.43	0.70	4.57	2.44	0.77	0.05	0.14	0.95	0.51	0.41	0.22	5.94	3.17
13年目	H 39	0.99738	0.99873	0.99782	0.5134	91.3	3.43	0.43	0.70	4.56	2.34	0.77	0.05	0.14	0.95	0.49	0.41	0.21	5.92	3.04
14年目	H 40	0.99738	0.99873	0.99781	0.4936	91.3	3.42	0.43	0.70	4.55	2.25	0.76	0.05	0.14	0.95	0.47	0.41	0.20	5.91	2.92
15年目	H 41	0.99737	0.99873	0.99781	0.4746	91.3	3.41	0.43	0.70	4.54	2.16	0.76	0.05	0.14	0.95	0.45	0.41	0.19	5.90	2.80
16年目	H 42	0.99736	0.99873	0.99780	0.4564	91.3	3.40	0.43	0.70	4.53	2.07	0.76	0.05	0.14	0.95	0.43	0.41	0.19	5.88	2.69
17年目	H 43	0.98994	0.99905	0.99288	0.4388	91.3	3.37	0.43	0.70	4.50	1.97	0.75	0.05	0.14	0.94	0.41	0.40	0.18	5.84	2.56
18年目	H 44	0.98984	0.99905	0.99283	0.4220	91.3	3.34	0.43	0.70	4.46	1.88	0.74	0.05	0.14	0.93	0.39	0.40	0.17	5.79	2.44
19年目	H 45	0.98973	0.99905	0.99278	0.4057	91.3	3.30	0.42	0.70	4.43	1.80	0.74	0.05	0.14	0.92	0.37	0.40	0.16	5.74	2.33
20年目	H 46	0.98963	0.99905	0.99273	0.3901	91.3	3.27	0.42	0.70	4.39	1.71	0.73	0.05	0.14	0.91	0.36	0.40	0.15	5.70	2.22
21年目	H 47	0.98952	0.99905	0.99267	0.3751	91.3	3.23	0.42	0.70	4.35	1.63	0.72	0.05	0.14	0.91	0.34	0.39	0.15	5.65	2.12
22年目	H 48	0.98941	0.99905	0.99262	0.3607	91.3	3.20	0.42	0.70	4.32	1.56	0.71	0.05	0.14	0.90	0.32	0.39	0.14	5.61	2.02
23年目	H 49	0.98929	0.99904	0.99256	0.3468	91.3	3.16	0.42	0.70	4.28	1.49	0.71	0.05	0.14	0.89	0.31	0.39	0.13	5.56	1.93
24年目	H 50	0.98918	0.99904	0.99251	0.3335	91.3	3.13	0.42	0.70	4.25	1.42	0.70	0.05	0.14	0.88	0.29	0.38	0.13	5.51	1.84
25年目	H 51	0.98906	0.99904	0.99245	0.3207	91.3	3.10	0.42	0.70	4.21	1.35	0.69	0.05	0.14	0.87	0.28	0.38	0.12	5.47	1.75
26年目	H 52	0.98894	0.99904	0.99239	0.3083	91.3	3.06	0.42	0.69	4.18	1.29	0.68	0.05	0.14	0.87	0.27	0.38	0.12	5.42	1.67
27年目	H 53	0.98881	0.99904	0.99234	0.2965	91.3	3.03	0.42	0.69	4.14	1.23	0.68	0.05	0.14	0.86	0.25	0.38	0.11	5.38	1.59
28年目	H 54	0.98869	0.99904	0.99228	0.2851	91.3	2.99	0.42	0.69	4.11	1.17	0.67	0.05	0.14	0.85	0.24	0.37	0.11	5.33	1.52
29年目	H 55	0.98856	0.99904	0.99222	0.2741	91.3	2.96	0.42	0.69	4.07	1.12	0.66	0.05	0.14	0.84	0.23	0.37	0.10	5.28	1.45
30年目	H 56	0.98842	0.99904	0.99216	0.2636	91.3	2.92	0.42	0.69	4.04	1.06	0.65	0.05	0.14	0.84	0.22	0.37	0.10	5.24	1.38
31年目	H 57	0.98829	0.99904	0.99209	0.2534	91.3	2.89	0.42	0.69	4.00	1.01	0.65	0.05	0.14	0.83	0.21	0.36	0.09	5.19	1.32
32年目	H 58	0.98815	0.99904	0.99203	0.2437	91.3	2.86	0.42	0.69	3.97	0.97	0.64	0.05	0.14	0.82	0.20	0.36	0.09	5.15	1.25
33年目	H 59	0.98801	0.99904	0.99197	0.2343	91.3	2.82	0.42	0.69	3.93	0.92	0.63	0.05	0.14	0.81	0.19	0.36	0.08	5.10	1.20
34年目	H 60	0.98786	0.99903	0.99190	0.2253	91.3	2.79	0.42	0.69	3.90	0.88	0.62	0.05	0.14	0.80	0.18	0.35	0.08	5.05	1.14
35年目	H 61	0.98771	0.99903	0.99184	0.2166	91.3	2.75	0.42	0.69	3.86	0.84	0.61	0.05	0.14	0.80	0.17	0.35	0.08	5.01	1.08
36年目	H 62	0.98756	0.99903	0.99177	0.2083	91.3	2.72	0.42	0.69	3.82	0.80	0.61	0.05	0.14	0.79	0.16	0.35	0.07	4.96	1.03
37年目	H 63	0.98740	0.99903	0.99170	0.2003	91.3	2.68	0.42	0.69	3.79	0.76	0.60	0.05	0.14	0.78	0.16	0.35	0.07	4.92	0.98
38年目	H 64	0.98724	0.99903	0.99163	0.1926	91.3	2.65	0.42	0.69	3.75	0.72	0.59	0.05	0.14	0.77	0.15	0.34	0.07	4.87	0.94
39年目	H 65	0.98708	0.99903	0.99156	0.1852	91.3	2.62	0.42	0.69	3.72	0.69	0.58	0.04	0.14	0.77	0.14	0.34	0.06	4.82	0.89
40年目	H 66	0.98691	0.99903	0.99149	0.1780	91.3	2.58	0.42	0.69	3.68	0.66	0.58	0.04	0.14	0.76	0.13	0.34	0.06	4.78	0.85
41年目	H 67	0.98673	0.99903	0.99142	0.1712	91.3	2.55	0.42	0.68	3.65	0.62	0.57	0.04	0.14	0.75	0.13	0.33	0.06	4.73	0.81
42年目	H 68	0.98656	0.99903	0.99134	0.1646	91.3	2.51	0.42	0.68	3.61	0.59	0.56	0.04	0.14	0.74	0.12	0.33	0.05	4.69	0.77
43年目	H 69	0.98637	0.99903	0.99127	0.1583	91.3	2.48	0.42	0.68	3.58	0.57	0.55	0.04	0.14	0.73	0.12	0.33	0.05	4.64	0.73
44年目	H 70	0.98619	0.99903	0.99119	0.1522	91.3	2.45	0.41	0.68	3.54	0.54	0.55	0.04	0.14	0.73	0.11	0.33	0.05	4.59	0.70
45年目	H 71	0.98599	0.99902	0.99111	0.1463	91.3	2.41	0.41	0.68	3.51	0.51	0.54	0.04	0.14	0.72	0.11	0.32	0.05	4.55	0.67
46年目	H 72	0.98579	0.99902	0.99103	0.1407	91.3	2.38	0.41	0.68	3.47	0.49	0.53	0.04	0.14	0.71	0.10	0.32	0.05	4.50	0.63
47年目	H 73	0.98559	0.99902	0.99095	0.1353	91.3	2.34	0.41	0.68	3.44	0.46	0.52	0.04	0.13	0.70	0.10	0.32	0.04	4.46	0.60
48年目	H 74	0.98538	0.99902	0.99087	0.1301	91.3	2.31	0.41	0.68	3.40	0.44	0.52	0.04	0.13	0.69	0.09	0.31	0.04	4.41	0.57
49年目	H 75	0.98516	0.99902	0.99078	0.1251	91.3	2.27	0.41	0.68	3.37	0.42	0.51	0.04	0.13	0.69	0.09	0.31	0.04	4.36	0.55
合 計							152.17	21.16	34.82	208.14	83.57	33.97	2.28	6.90	43.16	17.38	18.85	7.53	270.15	108.49

便益の現在価値算定表

箇所名：周南立体(残事業)

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	割引率4%
供用開始年次	H 26	0.99805	0.99756	0.99789	0.8548	91.3	3.54	0.44	0.72	4.69	4.01	0.79	0.05	0.14	0.98	0.84	0.42	0.36	6.09	5.21
1年目	H 27	0.99804	0.99755	0.99788	0.8219	91.3	3.53	0.44	0.72	4.68	3.85	0.79	0.05	0.14	0.98	0.80	0.42	0.35	6.08	5.00
2年目	H 28	0.99804	0.99754	0.99788	0.7903	91.3	3.52	0.44	0.72	4.67	3.69	0.79	0.05	0.14	0.98	0.77	0.42	0.33	6.07	4.80
3年目	H 29	0.99803	0.99754	0.99788	0.7599	91.3	3.51	0.43	0.72	4.66	3.54	0.78	0.05	0.14	0.97	0.74	0.42	0.32	6.06	4.60
4年目	H 30	0.99803	0.99753	0.99787	0.7307	91.3	3.51	0.43	0.71	4.65	3.40	0.78	0.05	0.14	0.97	0.71	0.42	0.31	6.04	4.42
5年目	H 31	0.99803	0.99753	0.99787	0.7026	91.3	3.50	0.43	0.71	4.65	3.26	0.78	0.05	0.14	0.97	0.68	0.42	0.29	6.03	4.24
6年目	H 32	0.99802	0.99752	0.99786	0.6756	91.3	3.49	0.43	0.71	4.64	3.13	0.78	0.05	0.14	0.97	0.65	0.42	0.28	6.02	4.07
7年目	H 33	0.99742	0.99874	0.99785	0.6496	91.3	3.49	0.43	0.71	4.62	3.00	0.78	0.05	0.14	0.97	0.63	0.42	0.27	6.01	3.90
8年目	H 34	0.99742	0.99874	0.99784	0.6246	91.3	3.48	0.43	0.71	4.61	2.88	0.78	0.05	0.14	0.96	0.60	0.41	0.26	5.99	3.74
9年目	H 35	0.99741	0.99874	0.99784	0.6006	91.3	3.47	0.43	0.71	4.60	2.77	0.77	0.05	0.14	0.96	0.58	0.41	0.25	5.98	3.59
10年目	H 36	0.99740	0.99874	0.99783	0.5775	91.3	3.46	0.43	0.71	4.59	2.65	0.77	0.05	0.14	0.96	0.55	0.41	0.24	5.96	3.44
11年目	H 37	0.99740	0.99874	0.99783	0.5553	91.3	3.45	0.43	0.71	4.58	2.55	0.77	0.05	0.14	0.96	0.53	0.41	0.23	5.95	3.30
12年目	H 38	0.99739	0.99873	0.99782	0.5339	91.3	3.44	0.43	0.70	4.57	2.44	0.77	0.05	0.14	0.95	0.51	0.41	0.22	5.94	3.17
13年目	H 39	0.99738	0.99873	0.99782	0.5134	91.3	3.43	0.43	0.70	4.56	2.34	0.77	0.05	0.14	0.95	0.49	0.41	0.21	5.92	3.04
14年目	H 40	0.99738	0.99873	0.99781	0.4936	91.3	3.42	0.43	0.70	4.55	2.25	0.76	0.05	0.14	0.95	0.47	0.41	0.20	5.91	2.92
15年目	H 41	0.99737	0.99873	0.99781	0.4746	91.3	3.41	0.43	0.70	4.54	2.16	0.76	0.05	0.14	0.95	0.45	0.41	0.19	5.90	2.80
16年目	H 42	0.99736	0.99873	0.99780	0.4564	91.3	3.40	0.43	0.70	4.53	2.07	0.76	0.05	0.14	0.95	0.43	0.41	0.19	5.88	2.69
17年目	H 43	0.98994	0.99905	0.99288	0.4388	91.3	3.37	0.43	0.70	4.50	1.97	0.75	0.05	0.14	0.94	0.41	0.40	0.18	5.84	2.56
18年目	H 44	0.98984	0.99905	0.99283	0.4220	91.3	3.34	0.43	0.70	4.46	1.88	0.74	0.05	0.14	0.93	0.39	0.40	0.17	5.79	2.44
19年目	H 45	0.98973	0.99905	0.99278	0.4057	91.3	3.30	0.42	0.70	4.43	1.80	0.74	0.05	0.14	0.92	0.37	0.40	0.16	5.74	2.33
20年目	H 46	0.98963	0.99905	0.99273	0.3901	91.3	3.27	0.42	0.70	4.39	1.71	0.73	0.05	0.14	0.91	0.36	0.40	0.15	5.70	2.22
21年目	H 47	0.98952	0.99905	0.99267	0.3751	91.3	3.23	0.42	0.70	4.35	1.63	0.72	0.05	0.14	0.91	0.34	0.39	0.15	5.65	2.12
22年目	H 48	0.98941	0.99905	0.99262	0.3607	91.3	3.20	0.42	0.70	4.32	1.56	0.71	0.05	0.14	0.90	0.32	0.39	0.14	5.61	2.02
23年目	H 49	0.98929	0.99904	0.99256	0.3468	91.3	3.16	0.42	0.70	4.28	1.49	0.71	0.05	0.14	0.89	0.31	0.39	0.13	5.56	1.93
24年目	H 50	0.98918	0.99904	0.99251	0.3335	91.3	3.13	0.42	0.70	4.25	1.42	0.70	0.05	0.14	0.88	0.29	0.38	0.13	5.51	1.84
25年目	H 51	0.98906	0.99904	0.99245	0.3207	91.3	3.10	0.42	0.70	4.21	1.35	0.69	0.05	0.14	0.87	0.28	0.38	0.12	5.47	1.75
26年目	H 52	0.98894	0.99904	0.99239	0.3083	91.3	3.06	0.42	0.69	4.18	1.29	0.68	0.05	0.14	0.87	0.27	0.38	0.12	5.42	1.67
27年目	H 53	0.98881	0.99904	0.99234	0.2965	91.3	3.03	0.42	0.69	4.14	1.23	0.68	0.05	0.14	0.86	0.25	0.38	0.11	5.38	1.59
28年目	H 54	0.98869	0.99904	0.99228	0.2851	91.3	2.99	0.42	0.69	4.11	1.17	0.67	0.05	0.14	0.85	0.24	0.37	0.11	5.33	1.52
29年目	H 55	0.98856	0.99904	0.99222	0.2741	91.3	2.96	0.42	0.69	4.07	1.12	0.66	0.05	0.14	0.84	0.23	0.37	0.10	5.28	1.45
30年目	H 56	0.98842	0.99904	0.99216	0.2636	91.3	2.92	0.42	0.69	4.04	1.06	0.65	0.05	0.14	0.84	0.22	0.37	0.10	5.24	1.38
31年目	H 57	0.98829	0.99904	0.99209	0.2534	91.3	2.89	0.42	0.69	4.00	1.01	0.65	0.05	0.14	0.83	0.21	0.36	0.09	5.19	1.32
32年目	H 58	0.98815	0.99904	0.99203	0.2437	91.3	2.86	0.42	0.69	3.97	0.97	0.64	0.05	0.14	0.82	0.20	0.36	0.09	5.15	1.25
33年目	H 59	0.98801	0.99904	0.99197	0.2343	91.3	2.82	0.42	0.69	3.93	0.92	0.63	0.05	0.14	0.81	0.19	0.36	0.08	5.10	1.20
34年目	H 60	0.98786	0.99903	0.99190	0.2253	91.3	2.79	0.42	0.69	3.90	0.88	0.62	0.05	0.14	0.80	0.18	0.35	0.08	5.05	1.14
35年目	H 61	0.98771	0.99903	0.99184	0.2166	91.3	2.75	0.42	0.69	3.86	0.84	0.61	0.05	0.14	0.80	0.17	0.35	0.08	5.01	1.08
36年目	H 62	0.98756	0.99903	0.99177	0.2083	91.3	2.72	0.42	0.69	3.82	0.80	0.61	0.05	0.14	0.79	0.16	0.35	0.07	4.96	1.03
37年目	H 63	0.98740	0.99903	0.99170	0.2003	91.3	2.68	0.42	0.69	3.79	0.76	0.60	0.05	0.14	0.78	0.16	0.35	0.07	4.92	0.98
38年目	H 64	0.98724	0.99903	0.99163	0.1926	91.3	2.65	0.42	0.69	3.75	0.72	0.59	0.05	0.14	0.77	0.15	0.34	0.07	4.87	0.94
39年目	H 65	0.98708	0.99903	0.99156	0.1852	91.3	2.62	0.42	0.69	3.72	0.69	0.58	0.04	0.14	0.77	0.14	0.34	0.06	4.82	0.89
40年目	H 66	0.98691	0.99903	0.99149	0.1780	91.3	2.58	0.42	0.69	3.68	0.66	0.58	0.04	0.14	0.76	0.13	0.34	0.06	4.78	0.85
41年目	H 67	0.98673	0.99903	0.99142	0.1712	91.3	2.55	0.42	0.68	3.65	0.62	0.57	0.04	0.14	0.75	0.13	0.33	0.06	4.73	0.81
42年目	H 68	0.98656	0.99903	0.99134	0.1646	91.3	2.51	0.42	0.68	3.61	0.59	0.56	0.04	0.14	0.74	0.12	0.33	0.05	4.69	0.77
43年目	H 69	0.98637	0.99903	0.99127	0.1583	91.3	2.48	0.42	0.68	3.58	0.57	0.55	0.04	0.14	0.73	0.12	0.33	0.05	4.64	0.73
44年目	H 70	0.98619	0.99903	0.99119	0.1522	91.3	2.45	0.41	0.68	3.54	0.54	0.55	0.04	0.14	0.73	0.11	0.33	0.05	4.59	0.70
45年目	H 71	0.98599	0.99902	0.99111	0.1463	91.3	2.41	0.41	0.68	3.51	0.51	0.54	0.04	0.14	0.72	0.11	0.32	0.05	4.55	0.67
46年目	H 72	0.98579	0.99902	0.99103	0.1407	91.3	2.38	0.41	0.68	3.47	0.49	0.53	0.04	0.14	0.71	0.10	0.32	0.05	4.50	0.63
47年目	H 73	0.98559	0.99902	0.99095	0.1353	91.3	2.34	0.41	0.68	3.44	0.46	0.52	0.04	0.13	0.70	0.10	0.32	0.04	4.46	0.60
48年目	H 74	0.98538	0.99902	0.99087	0.1301	91.3	2.31	0.41	0.68	3.40	0.44	0.52	0.04	0.13	0.69	0.09	0.31	0.04	4.41	0.57
49年目	H 75	0.98516	0.99902	0.99078	0.1251	91.3	2.27	0.41	0.68	3.37	0.42	0.51	0.04	0.13	0.69	0.09	0.31	0.04	4.36	0.55
合 計							152.17	21.16	34.82	208.14	83.57	33.97	2.28	6.90	43.16	17.38	18.85	7.53	270.15	108.49

一般国道2号 周南立体

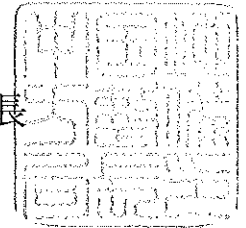
〔山口県への意見照会と回答〕



国中整企画第36号
国中整港計第19号
平成22年10月5日

山口県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成22年10月26日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成22年10月15日（金）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号 岩国・大竹道路	継続	
一般国道2号 周南立体	継続	

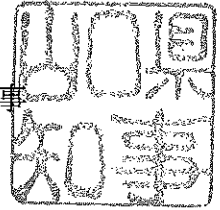
※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針（原案）を作成するためのものです。



平 22 技術管理 第 446 号
平成 22 年 (2010 年) 10 月 15 日

中国地方整備局長 様

山 口 県 知 事



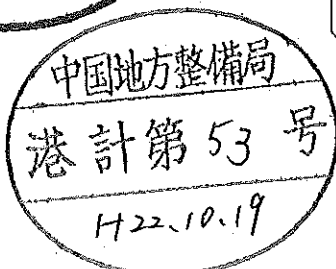
中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

平成 22 年 10 月 5 日付け国中整企画第 36 号で意見照会のありましたこのことにつ
いて、下記のとおり回答します。

記

事業名	一般国道 2 号岩国・大竹道路
【意見】 本事業の実施により、現国道 2 号の渋滞緩和や交通事故の減少等が見込まれる とともに、岩国基地民間空港などの広域交通拠点へのアクセス性の向上や岩 国地域と大竹地域の連携強化が期待される。 今後も、引き続き、地域の合意形成を図りながら、コストの縮減等に配慮の 上、計画的に事業を進めていただきたい。	

事業名	一般国道 2 号 周南立体
【意見】 本事業の実施により、国道 2 号の渋滞緩和や交通事故の減少等が見込まれる とともに、徳山東 IC 等の交通拠点へのアクセス性の向上が期待される。 今後も、まずは平面交差点改良の実施等による効果等を確認し、地域の合意 形成を図りながら、計画的に事業を進めていただきたい。	



技術管理課企画班

主 任 田中 英樹

〒753-8501 山口市滝町 1-1

TEL 083-933-3632/FAX 083-933-3669

E-mail : tanaka.hideki@pref.yamaguchi.lg.jp